

## 6 次産業化部門の充実による経営の安定に向けて

対象者 水口町 (有)R ファーム

### 【普及活動のねらい】

R ファームは、水田 116ha で水稲、野菜、花、果樹等 50 品目以上の農作物の栽培、作業受託および加工品生産とともに、直売所等を経営する県下有数のメガファームです。今後の経営発展のためには、6 次産業化部門を充実させることが重要であるとの思いから、平成 30 年 7 月には直売所を移転するとともに新たに農家レストランを整備されました。



R ファーム社員と農家レストラン

昨年までの指導の結果、6 次産業化部門の長期的な発展戦略（以下「発展戦略」）がないことや、タマネギドレッシングに次ぐヒット商品がないなどの課題が残りました。そのため、これらの課題の解決を図

るべく、6 次産業化戦略会議（以下「戦略会議」）を通じて発展戦略を検討するとともに、今後生産量増大が見込まれる高糖度トマトの加工品開発等に取り組みました。

### 【普及活動の内容】

#### 発展戦略の検討

6 次産業化部門の課題を整理するため、生産部門と 6 次産業化部門の責任者と関係機関により、戦略会議を開催しました。今年度 2 回開催した戦略会議では、今後の新商品の加工品開発計画、プランナーの招へい時期、残された課題の整理等を検討できました。

#### 新商品の開発

今までの戦略会議の検討結果に基づき、高糖度トマトの加工品や、キッチンカーでの移動販売を想定した野外販売用の新加工品の開発を支援しました。現在までのところ、3 つの加工品が完成し、残された課題として、高糖度トマト加工品がもう一つ必要であることから、6 次産業化プランナーを招へいして、開発コンセプト、試作品の開発や販売戦略等の検討を進めています。

### 【普及活動の成果】

発展戦略の検討では、戦略会議で残された課題を検討した結果、今後の 6 次産業化部門を担う担当者育成や、新商品開発方針などを盛り込んだ発展戦略の素案が作成できました。

新商品の開発については、高糖度トマトの加工品として、ミネストローネが開発でき、もう一つの新たな加工品として、パスタソースを軸に開発を進めています。

また、野外販売用の新加工品として、「スイカスムージー」と「おにぎらず」が開発できました。両商品とも各種イベント等で非常に好評で、今年のヒット商品となりました。

普及指導センターは、今後も R ファームと協議を重ねながら、6 次産業化部門が順調に発展できるよう支援していきます。